

広報せとうち

SETOUCHI

3

No.804
2026

特集

教室から世界へ！

子どもたちが挑む「最先端の学び」

PICK UP

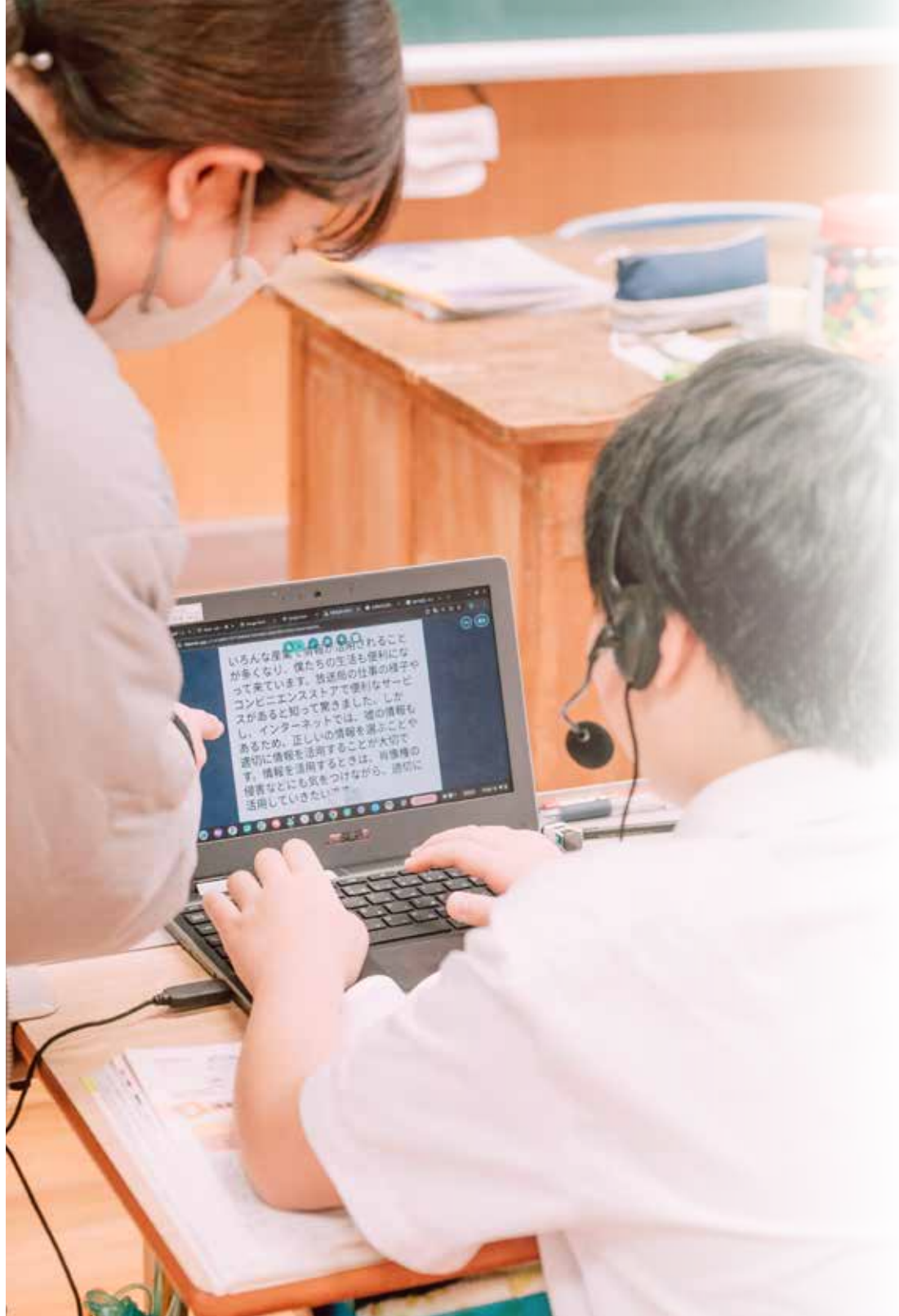
- 交通災害共済申込募集
- 引越して住所を異動される方は「正確な住所の届出」が必要です！
- 町制施行70周年記念第34回2026奄美シーカヤックマラソンIN加計呂麻大会参加者募集

今月の表紙：シマの味、黒糖作り。

特集

教室から世界へ

子どもたちが挑む「最先端の学び」



瀬戸内町の教育現場は少子化による児童生徒数の減少や、離島ゆえの地理的制約といった課題に直面してきました。

複式学級での多様な意見交換の不足、悪天候による研修の中止――。こうした「離島の課題」を、ICTの力で「強み」へと転換させる挑戦が今、全国から熱い視線を浴びています。

本町は2024年、2025年と連続で、Googleやマイクロソフトなどが参画する団体「ICTコネクT21」から「教育DX推進自治体表彰」を受賞しました。

鹿児島県内でも数少ないこの快挙を支えているのは、単なる機器の導入ではなく、現場の「困りごと」に寄り添った独自の活用術「瀬戸内モデル」です。最先端のツールを使いこなしながらも、その中心にあるのは常に「子どもたちの学び」と「先生方の情熱」でした。

本特集では、教育委員会の高橋指導主事へのインタビューを通じ、変革の真っ只中にある瀬戸内町の教育現場のリアルな姿を紐解きます。

※ICTとは…情報通信技術のこと。パソコン・スマホ・インターネットを使って、情報を集める・伝える・活用する技術の総称です。

離島の課題を「強み」に変える 瀬戸内モデルの真髄

—全国17自治体の1つとして、2年連続の教育DX表彰、おめでとうございます。

受賞の決め手は何だったのでしょうか。高橋進一指導主事…ありがとうございます。実は、グーグルの方から「瀬戸内町の取り組みなら選ばれるはずだ」と応募を勧められたのがきっかけでした。評価されたのは、離島や小規模校の教育課題を、ICTで克服しようとする姿勢です。本町では児童・生徒が極めて少ないという状況があります。それを「仕方な



ハイブリッド授業のイメージ。
(写真を基にAIでイラストを生成)

い」で終わらせず、オンラインで他校とつないだ授業を日常的に実施しているという点が、全国的にも珍しい「瀬戸内モデル」として高く評価されました。

—「瀬戸内モデル」における具体的な学習風景を教えてください。

特徴的なのは複式学級での「ハイブリッド授業」です。先生が一方の学年を指導している間、もう一方の学年は他校の同級生とオンラインでつながり、別の先生から授業を受けます。これにより、1人や2人の学級でも多様な考えに触れ、協働的な学びが充実してきました。

また、昨年度の加計呂麻島の学校を中心とした「フルオンライン研究公開」は象徴的な事例です。人数が少ない学校では、児童・生徒が欠席すれば公開自体が中止になるリスクがあります。そこで授業を事前にユーチューブへアップロードし、当日はその映像を基に他地区の先生方とリモートで協議しました。事前に映像を見ることで議論の時間が十分に確保でき、日本初とも言えるこの試みは大きな反響を呼びました。

—AIの活用や国際交流も、非常に先進的だと伺っています。

はい。鹿児島県内で唯一採択された「AIを活用した英語教育強化事業」により、フィリピンや台湾などの子どもたちと、英語でオンライン交流を行っています。

また、AIドリルも導入しており、解けば解くほどその子の習熟度や弱点に合わせた問題が提示されるので「個別最適な学び」が実現しています。

さらに、先生方の間ではグーグルが提供しているAIの活用も始まっています。これらを活用した探究学習や、自由進度学習など、授業のあり方そのものが進化しています。

—ハード面でも、大きなアップデートがあったそうですね。

今年の2月から、子どもたちのタブレットをLTE対応の最新機種に刷新しました。これまでは家庭にWiFiがないと宿題ができない、屋外ではインターネットが使えないといった課題がありました。今では場所を選ばずどこでも学習が可能です。理科の観察で外へ出て、その場で写真を撮って調べ物をする。そんな学びが当たり前になりました。

—順調に見えますが、現場での課題はありますか。

ICTが得意な先生ばかりではありません。苦手意識を持つ先生方もおられます。しかし、私たちは「ICTを使うことだけ」を目的にはしていません。あくまで子どもたちの学びを充実させるための「手段」です。ですから、子どもたちのために効果的に使ってください、と伝えています。

とはいえ、町内全域の先生方がチャットでつながり、実践報告や研修資料をリアルタイムで共有できる体制が整ったことで、少しずつ「挑戦してみよう」という輪が広がっています。

—最後に、この取り組みを通じて町民に伝えたいメッセージをお願いします。

「現場の先生方が子どもたちのために必死に頑張っている」という姿を知っていただきたいと思います。夜遅くまで教材研究をしたり、新しいツールを試行錯誤したりしている先生方が本町には本当にたくさんいます。

ICTは万能ではありませんが、小さな島の学校でも世界とつながり、無限の可能性を広げることができます。これからも「子どもたちのために何ができるか」を原点に、瀬戸内の教育をアップデートし続けていきます。



瀬戸内町教育委員会
高橋進一 指導主事

教師歴 27年。現在は指導主事として、町全体の教育をサポートしている。

地方創生とジェンダー平等 —女性に選ばれる地域へ—

瀬戸内町男女共同参画推進総合計画 (特に「地方創生」に関連する重点目標と主な施策を抜粋)

- I ジェンダー平等意識の浸透
- II 様々な分野における男女共同参画の促進と方針等決定過程への女性の参画拡大
政治・行政や職場、地域活動における女性の参画拡大と女性同士のネットワーク形成 など
- III 働きやすく、働きがいがある働きたい職場づくり
ジェンダー平等の意識改革と一人ひとりが個性と能力を発揮できる職場づくり、就労支援など
- VII 協働・協創による持続可能な地域経営の推進
地域活動におけるジェンダーバイアスの解消と意思決定過程への女性参画の拡大

■ジェンダー平等を核とした持続可能な地域づくり

2015年に始まった『地方創生1.0』は、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度の人口集中を是正する地域活性化の戦略でした。主に起業支援や雇用の創出による人口流出対策が進められましたが、必ずしも女性が求める働き方や生活環境が提供されたとはいえず、流出を食い止めることはできませんでした。課題の本質は、「雇用の有無」より「環境の質」にありました。

昨年6月に基本構想が閣議決定された『地方創生 2.0』では、この反省を踏まえ、ジェンダー平等の実現が重要な要素として位置付けられました。雇用創出と男女の賃金格差の是正、柔軟な働き方の導入のほか、意思決定過程への女性の参画を推進し、固定的役割分担意識やアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見・思い込み)を解消することで、女性に選ばれる地域社会を実現することが、人口減少対策の最重要テーマとなっています。

■地域に残る「3つの壁」

1. 女性が働く環境の不足

賃金や育成、登用に男女格差があり、女性にとって「働きやすく」「働きがい」があり、「キャリア」が描ける職場が少ない。

2. 固定的性別役割分担意識

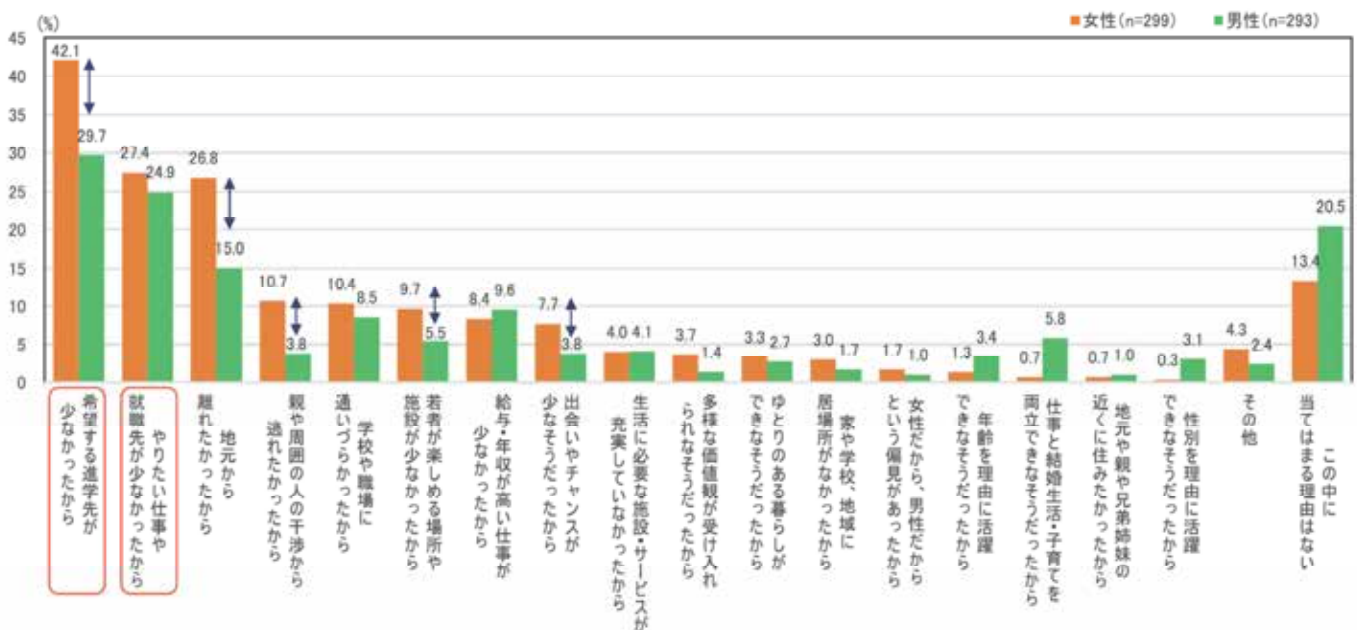
「男は仕事・女は家庭」という意識が根強く、若い世代の「共働き・共育て」価値観とズレが生じている。

3. 意思決定に女性が少ない

政治や行政、地域コミュニティなどで施策や方針を決定する場合は依然として男性中心。女性の声が届きにくく、反映されにくい構造。

【若い世代が出身地域を離れた理由】(対象:自己都合で東京圏以外から東京圏に転居した20代と30代の男女)

男女とも「希望する進学先」や「やりたい仕事」が少なかったからが多く、女性は「地元から離れたかった」も多い。

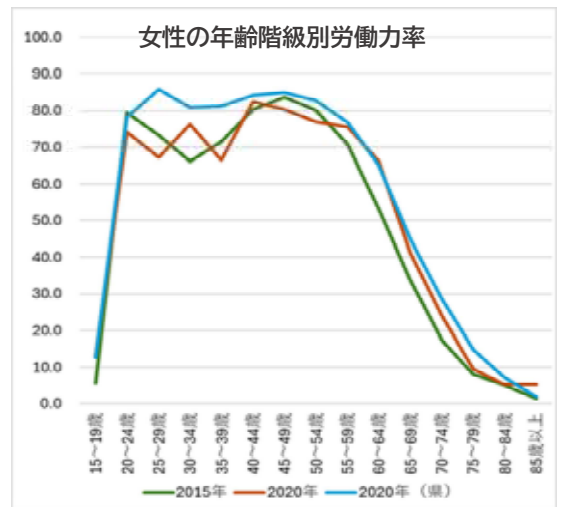
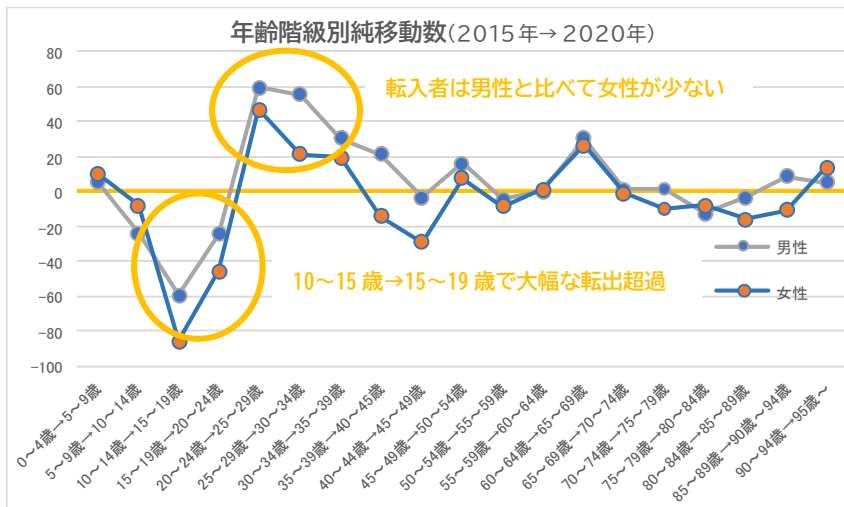


【出典】内閣府「令和6年度地域における女性活躍・男女共同参画に関する調査」

■データで見る本町の現状

本町では、進学や就職の時期に当たる10代後半から20代前半にかけて転出者が多く、一定程度戻っても人口減少が続いています。ただし、転出者は減少傾向にあり、2019年の自衛隊分屯地の開設に伴い、20代後半から30代の転入数が増加しました。女性は、男性より転出者が多く、転入者が少ない傾向にあります。

女性の労働力率は、県全体の女性の労働力率より低く、20代後半と30代後半でその差が広がります。また、非正規雇用率は、男性の約2割に対して女性は約6割と高い状況です。



※純移動数とは、転入者から転出者を差し引いた数。例えば、15歳～19歳→20歳～24歳の項目では、2020年に20～24歳である者の人口が2015年に15歳～19歳であったときに比べてどう変化しているかを示している。【出典】地域経済分析システム(RESAS)

【出典】「国勢調査」

■若い世代の本音 ※「2022年度瀬戸内町男女共同参画に関する住民意識調査」20代と30代の自由記述から

豊かな伝統文化や温かな人間関係は地域コミュニティの魅力です。一方、固定的な性別役割分担を背景とした慣習や行事、活動が根強く残っていることから、「女性だから」「男性だから」という役割の割り当てを生み出し、男女双方にとって負担感や不平等感につながっています。

この「性別役割の固定化」が、女性が地域から流出する要因の一つになっています。

地域コミュニティにおける性別役割の固定化やアンコンシャス・バイアスを解消することは、地方創生の基盤として必要不可欠な取組です。



■ジェンダー平等推進により変わる地域、3つのメリット

1. 女性流出の歯止め

魅力的な地域になることで定着率が向上。働く場や将来の結婚や子育ての場として選ばれ、人口減少が緩和されます。

2. 人材の確保

少子高齢化に伴い地域社会を担う人材が不足する中、これまで参加が低調だった30代女性等が能力を発揮することで、地域の新たな担い手となります。

3. 多様性による地域活性化

地域社会の意思決定の場に女性が参画し、多様な個性や能力、視点やアイデアを活かされることで、経済やコミュニティに革新をもたらします。

3月8日は『国際女性デー』

国連がジェンダー平等社会の実現に向けて制定。この日にちなみ国内外で様々な啓発活動が展開されます。ジェンダー平等について、身近なところから考えてみませんか？

1月8日(日)
防衛省による住民説明会



古仁屋港(須手地区)にて予定されている防衛省による港湾施設整備について、町民を対象とした説明会が開催されました。説明資料や質疑応答の内容については二次元コードからご覧いただけます。



2月10日(火)
地域行事等へのご協力に対し感謝状贈呈



五洋建設・りんかい日産建設 建設共同企業体様(壹岐智成総括所長)へ、本町から感謝状をお贈りしました。防犯器具のご寄付や、豊年祭等の地域行事へのご参加・ご支援をいただいたことに対するものです。壹岐所長は「恩返しの思いで続けてきました。今後も建設業はもちろん地域貢献活動にも力を入れていく所存です。」と話しました。

1月16日(金)
陸上自衛隊員「二十歳を祝う会」



陸上自衛隊奄美駐屯地にて、奄美駐屯地・瀬戸内分屯地合同で開催され、本町出身の山翔さんら隊員6人が人生の節目を迎えられました。出席した鎌田町長は「若い情熱をもって突き進み、自衛官として力を発揮してください。」と激励の言葉を贈りました。

1月24日(土)
海上自衛隊船舶が一般公開されました



佐世保地方隊に所属する多用途支援艦「あまくさ」が古仁屋港にて公開されました。艦のえい航や災害派遣における車両輸送・給水支援などを主な任務としており、乗艦した皆さんは艦内を見て回りながら、乗員から設備について説明を受けました。

1月25日(日)
瀬戸内町陸海空自衛隊パレード



自衛隊員の皆さんが、沿道からの応援に応えながら、音楽隊の華やかな演奏に合わせ、古仁屋中央通りを行進しました。自衛隊員の皆さんが、装備品展示も行われ、来場者は車両へ乗ったり、装備を試着したりして自衛隊の任務について学びました。

1月8日(日)
対象者の本音に
応えるサービスとは？



町DX推進室主催「サービスデザイン研修」を、宇検村との合同開催、加計呂麻島からはオンラインでご参加いただき開催しました。サービスデザインの考え方を日常業務や地域課題と結びつけ、住民サービスや業務改善、地域づくりへつなげる気付きを得る研修となりました。

2月2日(月)
共同募金活動へのご
尽力に表彰状



数原菊美かずはらきくみさんが厚生労働大臣表彰を受彰されました。長年にわたり積極的に各種募金運動に従事されてきたこと、区長や町嘱託員として地域住民の福祉活動に取り組みできたことによりこの度の受彰となりました。

1月31日(土)・2月14日(土)
誰もがスポーツを
経験できる環境を



2月9日(月)
社会教育活動へのご
尽力に表彰状

永井ながいしずのさんが文部科学大臣表彰を受彰されました。町社会教育委員を20年以上務め、島唄・三味線教室や古仁屋高校活性化にも尽力されています。永井さんは「子どもの成長を見るのが一番楽しみです。これからも頑張ります。」と話しました。

2月8日(日)
「つなGO奄美大島」
陸上教室開催



大湊緑地公園にて行われ、元陸上長距離選手でシドニー五輪にも出場された高橋千恵美さんやトレーナーの若森真樹さんから直接指導を受けました。冷たい風が吹き、時折雨も降る中、参加者の皆さんは寒さを吹き飛ばすように力強く走っていました。



町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会が主催し、プレ事業第3弾としてスポーツリズムトレーニング教室・ピジョントレーニング教室が行われました。鹿児島から講師を招き、リズムに乗って跳ねたり、目で追いつながらボールを投げ合ったり、各自のペースで体を動かしました。

1月17日(土)
18日(日)

子ども文化祭



子どもたちが日頃学んでいる日舞や体操、島唄などを披露しました。町文化協会の城山洋子会長は「子どもたちが一生懸命頑張っている姿をおじいちゃんおばあちゃんたちに喜んで見てもらえてありがたく思います。いろんなことに挑戦してもらいたいです。」と話しました。



令和7年度コミュニティ助成事業を活用(生間集落自治会) 一般財団法人自治総合センターでは、宝くじ社会貢献事業として、宝くじの受託事業収入を財源とした「コミュニティ助成事業」を実施しています。このうち、コミュニティ活動に直接必要な備品の整備を目的とした「令和7年度一般コミュニティ助成事業」を、瀬戸内町では生間集落自治会がテーブル、椅子、テントなどの整備に活用しました。



▼お問い合わせ先

社会教育課 生涯学習係
☎ 0997 - 72 - 2905



古仁屋高校 活性化対策通信

高校生がシマの未来を創る！

満天の星と夜の森へ

ざ・シマ学

「ナイトサファリ&星空ウォッチング」

ざ・シマ学「ナイトサファリ&星空ウォッチング」を開催しました。ざ・シマ学は古仁屋高校に瀬戸内町の魅力を体感してもらうための瀬戸内町役場総務企画課企画係の取り組みです。環境省の「夜空の明るさ調査」で全国1〜4位を独占した瀬戸内町。街灯の少ない夜の森に一歩足を踏み入れると、頭上には息をのむほどの満天の星空が広がり、天の川や無数の星々をはっきりと見ることが出来ます。高校生たちはキレイな星空を眺め、瀬戸内町ならではの自然の価値を、体感を通して味わう



時間となりました。ナイトサファリでは、アマミノクロウサギやリュウキュウアオバズクなど、奄美を代表する貴重な生きものたちと出会うことができました。夜行性の生きものたちの暮らしや行動を間近で観察しながら、ガイドさんの解説に、生徒たちは真剣な表情で耳を傾けていました。また、今回の学びの大きな



満天の星空を見上げる高校生たち

テーマの一つが「光害（ひかりがい）」です。便利さの一方で、人工の光が星空や生きものの生活にどのような影響を与えているのかを知り、「暗さを守ることも自然を守ることにつながる」という気づきを得る機会となりました。普段の生活ではなかなか意識しない「光」について考える、貴重な学びの時間でもありました。瀬戸内町の自然の豊かさ、そしてそれを守る大切さを、体験を通して学んだ今回のざ・シマ学。高校生たちの心に残る、忘れられない夜となりました。



望遠鏡で撮った月 リュウキュウコノハズク

〈令和7年度第3号〉

古仁屋高校生が

ボランティアで大活躍！

—高校生がつくった、まちのにぎわい—

新年の幕開けに開催された「新春！古仁屋紅白歌合戦」&「地域食堂チャロル堂」は、2日間で約100人が来場する地域イベントとなり、新聞にも掲載されるなど、注目を集めました。今回のイベント成功の裏には高校生たちの姿がありました。準備段階から当日運営まで、子どもたちと一緒に準備を進め、会場づくりからイベントの流れまでを共有しながら、一つの場をつくり上げていきました。当日は、飛び入り参加者の受付・対応、全体の進行・スケジュール管理、ステージの設営・転換などなど、ステージ裏方を、



参加者の対応をする高校生

参加者の対応をする高校生



高校生がすべて担いました。ボランティアを使いながら連携し、高校生たちは「見えなところ」でイベントを支え続けていました。地域の方からは、「昔の活気が戻ってきたみたい」とうれしい言葉をいただいた。イベントを盛り上げました。

キャリア教育推進

補助金活用事業

古仁屋高校生が町の魅力を発信！



優秀賞を受賞した古仁屋高校家庭クラブ

令和7年12月7日（日）、奄美市のマホームPLAZAにて、奄美高等学校主催のイベント「奄盛（あまもり）マルシェ」が開催され、古仁屋高校から情報ビジネスコース3年生2名が参加しました。生徒たちは、商業科「観光ビジネス」の

光ビジネス」の授業で学んだことを生かし、瀬戸内町の観光スポットや飲食店を紹介する手作りマップやクリ



地元をPRする高校生たち

地元をPRする高校生たち

アケースを制作。当日はたくさんのお客様に、瀬戸内町の魅力をPRしました。また、11月には「第74回県高等学校家庭クラブ研究発表大会」に家庭クラブが出場し、優秀賞を受賞しました。瀬戸内町の自然や文化を背景に、「衣・食・住」の視点から地域の現状と課題を整理し、高校生と地域のこれからの連携について発表しました。これらの活動は瀬戸内町役場が学校に対して、古仁屋高校活性化のために交付している、「キャリア教育推進補助金」を活用しております。

コーディネーターのつばやき



こんにちは！古仁屋高校支援コーディネーターのつばやきです。最近、「持続可能」という言葉をよく聞くようになりました。でも、正直なところ「じゃあ、何をしたらいいんだらう？」古仁屋高校を見ていると、その答えはともシンプルだと感じます。それは、一人ひとりが「挑戦し続けること」。やってみよう！と踏み出した選択の積み重ねが、いまの古仁屋高校につながっています。地域みらい留学も、最初から正解が見えていた取り組みではありません。でも、瀬戸内町の地域のみならず、地元の高校生だったみなさんが協力し、挑戦し続けてくれたから、古仁屋高校はいまもこうして瀬戸内町にあり続けます。これは当たり前のことじゃありません。みなさんが起こした「キセキ」です。これからも瀬戸内町役場は挑戦を続けていきます。みなさんもぜひ、古仁屋高校のファンになって、挑戦し続ける子どもたちを応援してください！そしてみなさん自身も、一緒に新しい挑戦をはじめませんか？

下宿

大募集！

総務企画課企画係では下宿をやって下さる方を募集しています！どうぞお気軽にご相談ください。

連絡先：瀬戸内町役場 総務企画課
企画係 森・朝谷
電話番号：0997-72-1112



古高だより

自主自立 敬愛和協 明朗端正 勤勉誠実

鹿児島県立古仁屋高等学校
〒894-1508
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 399 番地 1
[TEL]0997-72-0034 [FAX]0997-72-0057
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/koniya/>

大島地区高等学校総合文化祭



1年 昇さんの作品

1月21日と22日の2日間、奄美川商ホールにて第35回大島地区高等学校総合文化祭～令和7年度交流フェスタ～が開催され、本校からも吹奏楽部、書道部、軽音楽部、美術同好会、島唄三味線同好会が参加しました。舞台発表では、これまで積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮し、堂々とした姿で発表することができました。また展示部門では、作品一つ一つに工夫や思いが込められており、来場者の方々から多くの温かい声をいただきました。

海上の悪天候やインフルエンザの流行により、急遽プログラムの変更がありました。他校の発表に触れることでよい刺激を受け、文化活動の楽しさや奥深さを改めて実感する貴重な機会となりました。生徒たちは、仲間と協力することの大切さや、発表の場に立つことの緊張感と達成感を味わうことができたかと思えます。今後とも各文化部・同好会への応援をよろしくお願いいたします。

進路講演会



1月29日、体育館において1・2年生対象に進路講演会を実施しました。今回は小林浩之氏（キッズ・コーポレーション所属）を講師としてお招きし、「志望理由書の書き方講座」としてワークを取り入れた楽しい講演をしていただきました。

実際に志望理由書を書いてみるという体験をしたことは、生徒が自分の将来について具体的に考えるきっかけとなり、進路に向き合う意識を高める貴重な時間となりました。



消費生活講座

1月27日、3年生を対象に消費生活講座を実施しました。講座では近年増加している消費者トラブルの具体例をもとに、被害を防ぐための心構えや対処方法についてわかりやすく説明していただきました。

3年生は卒業後の生活を見据え、消費者として自分の身を守るために必要な知識を学ぶことができました。今後の生活にぜひ生かしてほしいと思います。



英語合同遠隔授業

1月28日、高知県の佐川高校と遠隔による英語の合同授業を実施しました。生徒同士が英語で自己紹介や意見交換を行いました。

普段は交流する機会の少ない他県の高校生と英語で関わることで、生徒たちは実践的に英語を使う楽しさや難しさを実感することができました。



議会だより

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23番地



第44回大島本島南部町村議会議員大会

目次 Contents

- 12 こんなことを決めました 第4回臨時会・第4回定例会
- 13 第4回定例会 議決結果
- 14 町政を問う！一般質問
- 20 活動報告

Topics
第4回臨時会
令和7年
11月26日

こんにちは
決めました

Topics1
90総トン型アルミニウム合金製貨客船1隻 船舶建造工事請負変更契約の締結について

【議案第83号】

契約変更の経緯と予測可能性について

問 泰山議員：昨年12月に当初の契約が可決されたが、今回の変更内容（国交省の指摘や船員の要望、物価上昇など）は、当初の段階で汲み取るのが難しかったものなのか、今後の参考のために確認したい。

答 当初はプロポーザル方式で公募し事業者を決定した。その後、詳細な打ち合わせを行い仕様を決めていったが、今年の8月頃に金額的に厳しいという相談があった。瀬戸内町だけでな

令和7年第4回瀬戸内町議会臨時会 議案・審議・議決結果

くJR-TT（鉄道・運輸機構）の承認や国庫補助金の変更手続きに時間がかかり、今回の臨時会での提案となった。

議案番号	件名	議員名（議席番号順）										議決結果
		栄克人	里山正樹	伊東さおり	中村洋康	泰山祐一	永井しずの	柳谷昌臣	元井直志	池田啓一	向野忍	
65	90総トン型アルミニウム合金製貨客船1隻船舶建造工事請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

賛成 ○ 反対 × 欠席 △

※向野議長は議長職の為、特別多数議決以外の議案について表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

Topics
第4回定例会
令和7年
12月9日から
12月11日まで

こんにちは
決めました

Topics1
令和7年度瀬戸内町一般会計
補正予算第6号

【議案第84号】 原案可決

●山郷地区仮設トイレについて

問 柳谷議員：設置の周知方法と交通安全対策は。

答 周知は検討する。場所がカーブ付近のため交通安全対策も徹底する。

問 実証実験後の設置場所は。

答 集落と協議して確定する。

Topics 2
血液供給体制に関する請願

【請願第1号】

「瀬戸内町・奄美大島・奄美群島の血液供給体制に関する請願」が採択されました。

Topics 3
教育委員会委員の任命について

【同意第3号】

教育委員会委員として福田豊久氏の任命に同意しました。

Topics 4
久慈地区 R6-1工区（農地・道路・水路）請負変更契約の締結について

【議案第100号】 可決

内容 令和5年度の災害復旧事業（久慈地区）に関する契約変更です。主な変更点は、農業用ハウス（3連1棟）の撤去工事を追加するもので、請負金額が約382万円増額され、総額7,434万2,000円となりました。

結果 起立多数により可決されました。

令和7年第4回瀬戸内町議会定例会 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名（議席番号順）										議決結果
		栄克人	里山正樹	伊東さおり	中村洋康	泰山祐一	永井しずの	柳谷昌臣	元井直志	池田啓一	向野忍	
84	令和7年度瀬戸内町一般会計補正予算（第6号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
85	令和7年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
86	令和7年度瀬戸内町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
87	令和7年度瀬戸内町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
88	令和7年度瀬戸内町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
89	令和7年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
90	令和7年度瀬戸内町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
91	令和7年度瀬戸内町簡易水道事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
92	令和7年度瀬戸内町水道事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
93	瀬戸内町課設置条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
94	瀬戸内町政治倫理条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
95	西古見GATEの設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
97	瀬戸内町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
98	瀬戸内町過疎地域持続的発展計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
99	瀬戸内町における辺地総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
同意 3	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
100	久慈地区 R6-1工区（農地・道路・水路）請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

賛成 ○ 反対 × 欠席 △

※向野議長は議長職の為、特別多数議決以外の議案について表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

町政を問う！

一般質問
7名の議員登壇

一般質問とは議員が町政全般にわたり、町の考えを問うものです。

通告1 柳谷 昌臣 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P15

- 自衛隊施設整備について【町長】 ●DX推進について【町長】 ●河川の伐採について【町長】
- 議会からの意見について【町長】 ●職員の資質向上について【町長】

通告2 泰山 祐一 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P15

- せとうち未来展望 2050 について【町長】 ●町制施行70周年について【町長】
- ドローン事業について【町長】 ●子育て支援について【町長】 町長の政治姿勢について【町長】

通告3 里山 正樹 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16

- 農業振興・地域活性化について【町長】 ●へき地診療所休床ベッドについて【町長】
- 介護人材確保と資格取得支援について【町長】 ●専門職の給付型奨学金制度創設について【町長】
- 介護施設物価高対策について【町長】 ●奄美大島を修学旅行先として誘致する取組みについて【町長・教育長】

通告4 中村 洋康 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P17

- 令和8年度当初予算編成について【町長】 ●町制施行70周年について【町長】
- 加計呂麻島・請島・与路島の島毎の振興対策について【町長】 ●ドローン事業について【町長】

通告5 永井 しずの 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P17

- 久慈農泊施設『あらとんとんの館』の今後の展望について【町長】 ●瀬戸内町の持続可能な介護について【町長】
- 庁舎内の機構改革について【町長】 ●池地小中学校、与路小中学校の今後について【教育長】
- 認定子ども園について【町長】

通告6 伊東 さおり 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P18

- 海の駅 レンタルスペースについて【町長】 ●フェリーの運賃及び車両航送運賃助成事業について【町長】
- ライドシェアについて【町長】 ●町内、町道、林道の美化について【町長】 ●ゴミ袋について【町長】

通告7 栄 克人 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P19

- ゴミのポイ捨て防止条例制定について【町長】 ●フェリー加計呂麻の荷物受け取り体制の改善について【町長】
- 人件費の効率化と持続可能な財政運営について【町長】 ●ふるさと納税について【町長】



柳谷 昌臣 議員



自衛隊施設整備について

問 須手地区における自衛隊海上輸送施設整備の進捗状況について伺います。

答 防衛省から「部隊を迅速に機動展開する能力を構築するため、南西地域における輸送・補給基盤（港湾施設）の整備を目的として、令和5年度から測量調査や土質調査等の適地調査を実施し、適地調査の結果を踏まえ、令和6年12月に、古仁屋港において港湾施設の整備が可能と判断したことから、今後、港湾施設の整備を進めていく」との説明があり、令和7年度においては、約2億円の予算で令和7年度から令和8年度末にかけ、実施設計を行っている状況であると認識しています。今後は、実施設計の進捗に伴い、港湾施設の整備に関する各種手続きに

移行されると認識しております。

問 防衛省による町民に対する説明会の開催について、伺います。

答 町としましては、防衛省に対し、施設工事全般計画、建設施設の概要（完成予想図）等、準備が整い次第、速やかに住民への説明を実施するよう依頼・要請をしているところであり、今後も引き続き国とは密に連携を図りつつ、適切な時期に住民への説明を行うよう調整いたします。

問 自衛隊宿舎（隊舎）の新たな整備計画について伺います。

答 令和7年度防衛省予算において、隊員及びその家族が居住する宿舎の整備に係る経費として約10億円が計上されており、更には令和8年度概算要求で約25億円が計上されております。この概算要求額は奄美市、瀬戸内町が含まれているものと承知しています。防衛省によりますと、各種調査、調整を実施した結果、瀬戸内警察署武道場裏の町有地が適地と判断され、現在手続きが進められていると説明を受け

ています。

問 本町での防衛補助事業の活用について伺います。

答 瀬戸内町において、過去に実施した事業または実施中の周辺対策事業は、「障害防止工事の助成」として道路整備。民生安定施設の整備の助成として、ごみ処理施設・し尿処理施設・消防自動車等の購入・清水公園改修工事等を実施しています。また、令和6年度、7年度に交付された訓練交付金として、消防団資材搬送車・消防団可搬式小型ポンプ等の購入があります。

しかしながら、補助事業の採択に当たっては、自衛隊等の行為、防衛施設の設置・運用に伴う因果関係が必要であり、また、各種制度は非常に複雑なものであることから、事業の実施に当たっては、国とも情報共有を密にしつつ、町としては、助成対象となる事業についてあらかじめ情報をまとめておき、時期を失することなく有効に活用し、町民が快適に生活できる環境の整備を行っていく必要があると認識しております。



泰山 祐一 議員



ドローン事業について

問 奄美アイランドドローン株式会社（AID）の存続期限が令和8年3月31日であることを踏まえ、マニフェストやせとうち未来展望2050に掲げる「ドローン活用」を令和8年度以降どのような体制で継続するのか、また会社を解散する場合、株式や知的財産、運用データ、設備機材をどのように継ぎ・管理・活用するのか伺います。

答 町長…AIDの取組により一定の知見を蓄積でき、目的は達成したと判断し、令和8年3月31日で満了となります。来年度以降は町が主体となり、防災・災害対応など公的業務を中心にドローン等を活用した地域サービスを展開します。株式や知的財産等は契約に基づき適切に処理します。

小型無人機（ドローン）の飛行レベル



画像出展…無人航空機に係る制度検討の経緯について(国土交通省)

問 レベル3.5での物資輸送は一旦休止となり、体制は後退します。事業計画や契約内容が非公開の資料があまりにも多い中進められ、「適切」と言われども、我々は「適切か」分かりません。我々議会は町民からご負託を受け、予算執行を監視・チェックする議決機関であり、日本国憲法にもその役割が明記されています。適切かどうか分からない状況のままでは、監視機能を果たせません。知的財産や運用データ、設備機材の契約がどうなっているのかをお示しいただきたい。

答 財政補佐…AIDで得られた知見やノウハウを土台に、新年度に向けて町が主体となり自立した事業として進めます。マニュアルはJAL、飛行データはヤマハ、運行データはAIDのものとなります。

泰山 知的財産である運航マニュアルがJALにあり町に残らないのは大きな問題です。蓄積した経験を生かすためにも、申請に不可欠なマニュアルへの配慮を求めます。



里山 正樹 議員



農業振興・地域活性化
について

問 山郷地区網野子集落で民間が進める体験型農園等の整備に対し、町として主体的に協議し伴走型の支援体制を構築すべきではないか。また、営農支援センターの水不足対策はどうなっているか。

いるか。

答 全体への波及効果が大きいモデル事業と考え、地元企業や農家と協議を進める。

水不足については、地下水を活用した施設整備に向け県と協議中である。

へき地診療所の休床ベツ
ド利用について

問 休床中の病棟を徳洲会病院へ移管するか、病児保育施設として活用すべきではないか。

答 病床移管は地域医療構想上の調整が必要で慎重に進める。施設の利活用については運営委員会等に諮り検討する。

介護人材確保と資格取得
支援について

問 町内で介護職員初任者研修等が受講できる環境整備を行う考えはあるか。

答 町での研修実施体制の整備は考え

ていないが、受講費用への助成など人材確保に資する支援策を検討する。

給付型奨学金制度創設
について

問 医療・福祉等の専門職確保のため、地元就労を条件とした給付型奨学金を創設できないか。

答 給付型ではなく、町内で医療・福祉職に就く定住者を対象に、奨学金返還の一部を助成する制度を設計中である。

介護施設の物価高対策
について

問 食材費等の高騰に苦しむ施設や宅配給食サービスに対し、補助制度を検討する考えはあるか。

答 国の地方創生臨時交付金の活用に加え、町独自の支援についても検討したい。

修学旅行の誘致について

問 中学生からの提案を受け、本土からの修学旅行誘致に向けた検討・体制づくりを進められないか。

答 観光協会と連携し体制づくりを進める合意は得ている。大人数の受入施設不足等の課題はあるが、少人数での体験交流などから推進したい。



中村 洋康 議員



令和8年度当初予算編成について

問 当初予算編成の重点項目及び新規事業等について。

答 重点項目は子育て支援の充実、ICT機器を活用した教育、農業の振興、陸上交通の安全対策、文化と観光、海洋における自然保護活動、ふるさと納

税の取組等、新規事業については、町制施行70周年記念事業、節子地区のため池、網野子地区の排水路の浸水被害防止工事、交通空白解消緊急支援事業にかかる実証実験の継続及び加計呂麻島民車両航送料補助等です。また、地域内経済循環の拡大対策として、公共事業や地域サービスの提供に際し、町内事業者の活用機会の確保に努めます。

町制施行70周年

について

問 町制施行50周年の際に発刊された地元新聞掲載の瀬戸内町関連記事をまとめた『新聞資料集』について、その続編となる資料集の編纂・刊行できないか伺います。

答 地元新聞社の協力が必要ですので調整して検討していきたいと思います。

問 70周年という節目にあたり、集落集會施設等整備事業分担金徴収条例の分担金について見直し（減額等）できないか伺います。

答 人口減少などの社会情勢の変化を踏まえ、新たな展開に向けた前進のためにも70周年という節目を契機に一定の結論を出すことは重要と考えますが、これまでの経緯や関係者の理解も踏まえる必要があることから今後の検討課題としたいと思います。

ドローン事業について

問 奄美アイランドドローン（株）の更新については住民等の意見を踏まえ検討するという答弁でしたが、その後の取り組み状況を伺います。

答 奄美アイランドドローン（株）の目的を達成したと判断し、令和8年3月31日で満了となります。

久慈農泊施設

『あらとんとの館』の今後の展望について



永井 しずの 議員



問 「あらとんとの館」と「西古見ゲート」を連携させ、西方全体を活性化させる具体的な施策を伺います。

答 両施設の連携は不可欠であり、通過型から滞在型観光への転換を図る。具体的にはタンカン収穫や釣りなどの体験メニューを充実させ、民間事業者や旅行会社と協力してPRを行うことで、両施設の強みを活かした相乗効果を生み出していく。

持続可能な介護について

問 町内の介護施設が今後継続していくための町としての施策を伺います。

答 運営支援として国の報酬改定や物価高騰対策分を確実に反映させる。また、事業所ごとの強みを活かして地域全体でサービスを維持できるように、定期的な協議の場を設け、持続的な運営を支援したい。

庁舎内の機構改革について

問 課を統合した事でのメリット・デメリットを伺います。

答 改革の目的は組織の持続可能性と効率化である。高校支援業務等については、専門職であるコーディネーターを配置しており、職員が異動しても連携して対応できる体制を整えている。

池地小中学校・与路小中学校の今後について

問 休校や存続の危機にある池地・与路校に対し、留学生募集等の対策と現状はどうなっているか伺います。

答 留学制度の補助拡充や、関西郷友会への直接的なPRを実施した。与路

校の里親募集については問い合わせがあり、現在面談を進めている。

認定こども園について

問 町として将来『認定こども園』を創設する予定はあるか伺います。

答 過去のアンケートでは要望が少なかつたが状況が変化しているため、令和8年度の方針策定や令和9年度頃の高丘保育所建替計画時に、認定こども園の設置を再検討したい。



伊東 さおり 議員



海の駅レンタルスペースについて

問 1時間2,400円の使用料は、テナント料(月額換算)と比較しても公共施設として高額すぎるのではないか。利用実態に合わせた減免や、テ

ブル備え付けなどの改善策を伺います。

答 料金は他施設と比較しても適正と考えるが、使用面積や販売の有無などを考慮した減免については検討する。テールは寄贈があれば受け入れ、活用を考えたい。

フェリー運賃及び助成について

問 自動車航送運賃の島民割引の進捗状況と、カケロマ地域の売店維持のため仕入れにかかる貨物運賃の免除について伺います。また、車検時助成の予算残額を他の助成に回せないか伺います。

答 島民割引は令和8年度内の実施に向け取り組んでいるが、国・県から運賃自体の値上げ指示も受けており、貨物運賃の免除は経営上困難である。車検助成予算の目的外使用はできないが、利用促進に努める。

ライドシェアについて

問 開始後の利用状況と課題、料金設定の根拠を伺います。

答 11月末時点で、268件の利用があり、課題は特になく好評である。料金はバスより高くタクシーより安い設定とした。

林道の美化について

問 ソテツのカイガラムシ被害対策や林道の伐採時期について伺います。

答 カイガラムシ被害は私有地が多く対応困難だが、薬剤支援を検討する。林道伐採は生活路線を優先する。

資源ゴミ袋について

問 資源ゴミ(瓶)用の小袋がなく、高齢者が大袋を使うのは不便かつ不経済である。回収後に袋を開封するので

あれば、透明なレジ袋での排出を認めてほしい。

答 小袋は需要が少なく作製が難しい。レジ袋での排出はゴミ散乱の懸念もあるが、住民の要望を踏まえ協議を検討したい。



栄 克人 議員



ゴミのポイ捨て防止条例 制定について

問 7月に提案したゴミのポイ捨て防止条例の検討状況はどうか。ボランティアの活動に報い、教育的観点からも条例制定が必要と考えるが、町の見解を問う。

答 条例については、罰則の実効性に課題があるほか、単独での制定は「ポイ捨てが多い町」という負のイメージを招く懸念があるため、現在は検討していない。他町村と連携して考えてい

きたい。当面は看板設置や、空き缶への吸い殻混入防止などのマナー啓発に努める。

フェリーかけろまの荷物 受け取り体制の改善 について

問 フェリーかけろまの14時便における荷物受取の混雑緩和について、船員の負担を増やさない形で人的補助や改善策を求める。

答 受付は出港30分前から行っている。常時の補助員導入は難しいが、年末等の繁忙期には補助員を配置して対応する。また、大口利用者への月締め請求等の対応で窓口負担の軽減を図っている。

人件費の効率化と持続可 能な財政運営について

問 人件費が高騰し財政の課題となっている。施策の費用対効果の精査や、課の統合による人員削減など、持続可能な財政運営に向けた具体策は何か。

答 現状のままでは将来的に行政サービス維持が困難になる可能性がある。事業評価による実行判定やDXによる事務改善を行うとともに、課・係の統合を通じて業務効率化と適正な人員配置を進め、行財政の再構築を図る。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税の現状と次年度の目標は。目標達成には、島唄教室のような独自性のある返礼品開発や、PRの強化が必要ではないか。

答 11月末実績は約8,000万円で前年比増となっている。次年度は寄付額1億7,000万円を目標とし、返礼品の掘り起こしや体験型商品の拡充、SNSや物産展での対面PRを強化する。また、離島特有の輸送費課題については、制度設計への配慮を国へ要望している。

活動報告

瀬戸内町
文教厚生
常任委員会

Topics1

所管事務調査
「瀬戸内町の持続可能な介護に
関する調査」を実施しました。



令和8年1月19日に先進自治体である、鹿児島県さつま町、鹿児島県湧水町の事例を本町の施策への反映を目的として視察を実施しました。

◇さつま町における
配食サービスの現状

さつま町では、独居高齢者等の栄養改善と安否確認を目的とした町単独事業を継続しています。

□徹底した対面手渡しによる見守り

原則として対面での手渡しを徹底し、応答がない場合は家族等の許可を得て、家の中に入って声掛けを行うなど、非常にきめ細かな運用がなされています。

□救急搬送への迅速な対応実績

配食時の見守り活動により、令和6



年だけで熱中症でぐったりしている利用者者を5件発見し、救急搬送に繋げるなど、人命救助に直結する成果を上げています。

□一貫した運営体制

社会福祉協議会への委託により、調理から配達、容器回収までを一貫して行う体制を構築しています。

◇湧水町における医療介護
従事者奨学金および人材育
成支援の現状

湧水町では、将来的な介護職員の需要増加を見据え、2つの強力な支援事業を展開しています。

□介護人材育成支援事業補助金

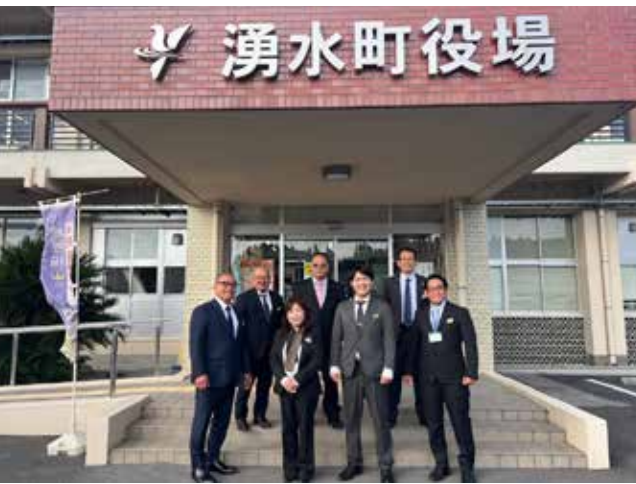
介護福祉士や初任者研修などの受講費用の8割を補助。これまでに延べ33名が利用しており、専門資格の取得を力強く後押ししています。

□医療介護従事者奨学金貸与事業

医師、看護師、社会福祉士、介護福祉士など幅広い職種を対象に、月額3万5,000円程度の貸与を実施しています。

□定住を促進する返還免除制度

町内に住所を置き、町内の施設に勤務する場合などは、奨学金の返還が免除（または猶予）される仕組みを設け、地域に根差す人材の確保に努めています。



瀬戸内町
総務経済
常任委員会

Topics 1

第三セクターの運営についての
調査をしました。

竹富町が所有する貨物輸送船「つむぎ」について、視察・ヒアリングを実施しました。

「つむぎ」導入の経緯については、JAの貨物船「農協やえやま」の運行終了を受けて、その後継として町が公船を整備したものであり、本町と類似した背景を持っています。

船の建造に要した費用については、ふるさと応援寄附金及び沖繩離島活性化推進事業費補助金（沖振法、補助率十分の八）を活用し、残額を過疎債で補填、町の財政負担を最小限に抑えていて、本町とは異なる財源構成でした。

運航体制については、指定管理者制度を導入しています。

これまでの運航実績は毎月黒字を維持しており、指定管理料の支出も発生していないことから安定した経営がなされているようです。

加えて、貨物量の増加により、専用バースの整備が実現すれば、さらなる収益増が見込まれるとのことであり、本町における将来的な収支見通しとは大きな差異があると感じました。

竹富町は「建造費は補助金とふるさと納税で町が持ち、運営費は民間の経営努力で賄わせる（行政のランニングコスト負担を極小化する）」というシビアかつ野心的なモデルです。対して瀬戸内町側は、第三セクターとして行政が運営費を支えるモデルを前提としており、その「自立度」の高さが最大の相違点でした。



多機能型貨物輸送船「つむぎ」の船内見学



多機能型貨物輸送船「つむぎ」の接岸状況



多機能型貨物輸送船「つむぎ」前にて



竹富町議会議事堂での集合写真（大久議長と）

防衛事業と
地域共生調査
特別委員会



海上自衛隊 下関基地隊の視察

本町に計画している自衛隊海上輸送施設と同規模である海上自衛隊下関基地隊を調査視察しました。
基地内の港湾岸壁、隊舎、宿舎、倉庫、燃料タンク等を案内・説明していただき、本町に計画している施設のイメージが具体化しました。



海上自衛隊 下関基地隊のみなさんと



説明・意見交換会

まちの未来が見える
議会傍聴においでください

次回の定例会は 3月3日の予定です

インターネットで生中継。
瀬戸内ケーブルテレビの録画放送でもご覧いただけます

- | | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 義永 | 向野 | 柳谷 | 元井 | 永井 | 栄 | 中村 |
| 将晃 | 忍 | 昌臣 | 直志 | しずの | 克人 | 洋康 |
- 議会報編集委員会

本会議の様子は、映像でもご覧いただけますのでスマートフォンやタブレットでご視聴される場合は、右の二次元コードにカメラを向けることで視聴サイトへと繋がります。またパソコンでご視聴される方は、YouTubeで「瀬戸内町議会」と検索することでご覧いただけます。





瀬戸内消防分署からのお便り

救急ニュース！



瀬戸内消防分署からお知らせです。
救急関連の情報などを掲載していますので、ぜひご確認ください。

自殺対策強化月間について

あなたの周りに悩んでいる人は居ませんか？一人で悩まず周囲への声掛けをしましょう！
自殺を予防する『TALKの原則』があります。

その人の心が 壊れてしまう前に

- 【T】 はっきりと言葉に出して相手を心配していると伝える。
- 【A】 死にたいと思っているかどうかを率直に尋ねる。
- 【L】 絶望的な気持ちを受け止め、徹底的に傾聴する。
- 【K】 危険と判断したら、本人の安全を確保し適切に対処する。



救える命を救いましょう

『TALK』とは、TELL、ASK、Listen、Keep safeの頭文字をとった言葉になります。



あなたの声を
聴かせてください。

相談窓口を紹介しています。



ゲートキーパー

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気付き、声をかけてあげられる人のことです。命の門番とも位置付けられています。

- 変化に気づく**
家族や仲間の変化に気づいて声をかける
- じっくりと耳を傾ける**
本人の気持ちを尊重し耳を傾ける
- 支援先につなげる**
早めに専門家に相談するよう促す
- 温かく見守る**
温かく寄り添いながらじっくりと見守る

日本全国AEDマップ

日本全国AEDマップをご存じでしょうか？
旅先でも携帯電話で【日本全国AEDマップ】と検索すると近くのAEDの設置場所の情報がすぐ出て来ます。
もしもの時に、素早い行動が取れるようにしましょう。

日本全国AEDマップの情報はこちらの二次元コードからも取得可能です。



救急講習会について

瀬戸内消防分署では、救急講習会で命を救う知識、技術を教えています。
広報誌をご覧になられて、興味がありましたら、是非お問い合わせください。



119番通報について

携帯電話から119番通報を行った際に、発信場所と異なる地域の消防本部へつながる事案が発生しています。本事案は、携帯電話の電波を中継する基地局などの位置によって、大島地区消防組合ではなく、別の地域の消防指令センターへつながっていると考えられます。
もし、他の消防本部につながってしまっても、落ち着いて現在の【市町村名】から電話をかけていることをお伝え下さい。その後、火事、救急、救助などの内容をお話しすると、正しい管轄の消防本部へ転送されますので、電話を切らずにそのままお待ちください。なお、携帯電話通報の場合のみ、このような事案が起こっております。固定電話からの119番通報では、大島地区消防組合につながりますので、可能であれば固定電話からの通報もご検討して下さい。



大島地区消防組合
瀬戸内消防分署
救急係

TEL 0997-72-1190
FAX 0997-72-1192

894-1508
瀬戸内町古仁屋芦瀬原
1283番地175号

めばえ

運動・睡眠・食事

2026年3月316号

今月の担当

瀬戸内町立池地中学校
校長 前泊 勝利

こどもが健やかに成長していくためには、適切な運動、十分な休養・睡眠、調和のとれた食事が大切です。また、こどもがこのような生活習慣を身に付けていくためには、各家庭で保護者の果たすべき役割は大きくなります。「よく体を動かし、よく眠り、よく食べる」という成長期のこどもにとって、自然で必要な基本的な生活習慣が大きく乱れていることがあります。基本的な生活習慣の乱れが、学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されています。「早寝（熟睡）・早起き・朝ごはん」に代表される生活リズムの確立に取り組むことが大切です。

また、「運動・睡眠・食事」と「学習」は次のような関係があると言われています。

「**運動**と学習」は、運動をすることでいつもとは違う部分が刺激され、新しい細胞が生み出されることで脳が活性化します。運動することで脳が活性化し、思考力や記憶力が強化されるので学習効果が向上するようです。

「**睡眠**と学習」は、学習効果を高めるためには十分な睡眠が必要です。寝ないで長時間勉強するより、寝て睡眠中に脳を休ませてから勉強するほうが脳にゆとりができて効果的に勉強することができそうです。

「**食事**と学習」は、朝ごはんを抜くとその後の活動の際に集中力が出ないことがあります。それは脳のエネルギー源であるブドウ糖が不足しているために勉強が捗らないからのようです。

こどもの成長のために、保護者がしっかり「運動・睡眠・食事」に関わっていくことが大切です。

(池地中学校内での「運動」として持久走大会の様子を掲載しています。)

2026年4月のご案内▶▶古仁屋小学校附属幼稚園です。

担当 ▶ 教育委員会社会教育課生涯学習係 脇田 ☎ 72-2905



1月の図書館利用状況（開館日数：本館 23 日・移動図書館 16 日）
【貸出冊数】 3,785 冊（+163 冊） 【利用者数】 643 人（-30 人）

一般書の新着



『リクと暮らせば』
大崎 梢/著
訓練を受けた優秀な番犬を貸し出す「レンタル番犬サービス」。事情がありサービスを利用する人と犬たちの絆の物語。

- 『少食でもちゃんと栄養がとれる食べ方』関口 絢子/著
- 『ハヴィラ戦記 2』みのすけ/著
- 『閲覧注意』知念 実希人/著
- 『総理にされた男 2』中山 七里/著

児童書の新着



『みんなで見守る地域猫』
高橋 うらら/文
ノラ猫に不妊去勢手術を施して増加を防ぎ、地域住民が協力してエサやりやトイレ掃除などをする地域猫活動の詳細を描く。

- 『海底のサバイバル 1』洪 在徹/原案
- 『K-POP・シークレット 1』ステファン・イ/原作
- 『えかきになりたいねずみくん』なかえ よしを/作
- 『もぐもぐかめかめ』きたがわ めぐみ/作・絵

イベントのお知らせ

★図書館友の会

日時：3/1(日)14:00~15:00
場所：図書館1階事務室
今月は新聞エコバッグ作りの予定です。

★ちいさい子のおはなし会

日時：3/8(日)10:45~
場所：図書館1階絵本コーナー
赤ちゃんから楽しめるおはなしをいろいろ用意しています♪

★おはなしのじかん

日時：3/15(日)10:30~11:00
場所：図書館1階絵本コーナー
いろいろなおはなしを用意しています♪

★絵本のカタリバ

日時：3/25(水)19:00~19:30(予定)
場所：図書館1階絵本コーナー
参加したい方は当日18時までに図書館へ連絡をお願いします。

郷土小話

大島海峡生まれの「オキちゃん」

昭和49年5月、沖縄国際海洋博覧会のマスコット・イルカが大島海峡で捕獲されました。瀬戸内漁協が協力して薩川湾一帯を探索。11隻の船団で半円形の円陣で追い、約2時間にわたる追跡の末、知之浦湾で11頭を捕獲。久根津でしばらく調教訓練されたのち沖縄へ。イルカは「オキちゃん」と命名され人々に愛されました。1999年には娘「サミ」を出産。そのセレモニーには瀬戸内町長も招待されました。『沖縄ちゅうら海水族館』によると「オキちゃん」は2025年12月2日死亡。世界で飼育されているミナミバンドウイルカで最も長生きし、飼育50年目、推定52歳だったそうです。



写真：久根津で調教訓練する様子
（「広報せとうち」昭和50年元旦号より）

火曜日～土曜日9:00～18:00 / 日曜日・祝日9:00～17:00

月	火	水	木	金	土	日
3/1						3/1 図書館友の会
3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8 ちいさい子のおはなし会
3/8	大島					3/15 おはなしのじかん
3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/22
3/15	加計呂麻			新着		
3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/29
3/17	大島					
3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	
3/24	加計呂麻	絵本のカタリバ		新着		
3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5
3/31						

上記の予定は、状況次第で中止になる場合があります。ご了承ください。

3月のお知らせ

お問い合わせ先に各課の直通番号を記載しています。役場代表のお問い合わせ先はこちらです。

☎ 0997 - 72 - 1111

※平日の午後5時15分以降や休日は、宿直室につながります。

お知らせ

募集

催し

交通災害共済申込募集

▶**交通災害共済とは?** 年間500円で加入ができ、自動車や自転車などの車両や旅客機・旅客船などの事故（自損事故を含む）が原因で身体に傷害を受けた場合に、治療日数に応じて見舞金を受け取ることができる保険です。詳しくは3月中旬に各世帯に配布します加入申込書と同封の資料をご覧ください。

▶**料金** 年間掛金500円（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）



▶**申込方法** 加入申込用紙と1人につき500円を、役場2階総務企画課危機管理係窓口へご持参ください。

▶**申込期間** 3月23日（月）受付開始、年度途中いつでも加入できます。

▶**お問い合わせ先**
総務企画課 危機管理係
☎ 0997 - 72 - 1111

加計呂麻地区道路伐採業務委託員募集

▶ 応募資格

- ① 瀬戸内町（加計呂麻地区）に住所を有している者
- ② 令和8年4月1日時点で満年齢18歳以上65歳未満の者
- ③ 町税および使用料等に滞納がない者
- ④ 伐採資格を有する者

▶**応募期間** 3月2日（月）～3月16日（月）（土・日曜日、祝日は除く）※郵送可、3月16日（月）消印有効

▶**応募方法** 申込書兼履歴書は建設課での受け取りまたは町公式ウェブサイトからダウンロードできます。

▶**採用方法** 書類選考、採用者には別途通知します。

▶**業務期間** 令和8年4月1日～令和9年3月31日

▶**職種** 道路伐採作業 ▶**募集人員** 4人

▶**勤務時間** 午前8時30分～午後5時※月15日勤務

▶**委託料** 日額9,500円（交通費含む）

▶**お問い合わせ先** 建設課 住宅・土木維持係
☎ 0997 - 72 - 1197



令和8年度『農業研修生』募集

就農をめざす人材（担い手）を募集します。

▶**目的** 本町において農業経営および農業法人等に就農を希望する者に対して、農業の基礎知識、経営方法、技術に関する実地研修をおこない地域農業の振興に貢献しうる人材の育成を目的とします。

▶**研修場所** 瀬戸内町営農支援センター

▶**研修品目** 重点振興品目（パッションフルーツ、たんかん、カボチャ、肉用牛等）

▶ 研修内容

- ① 農業基礎講座 ② 研修施設等を活用した実践研修
- ③ その他就農に向けた各種研修会への参加

▶ 研修中の支援

- ① 就農準備資金
- ② 中高年層の就農支援（瀬戸内町ふるさとUターン就農支援）
- ③ 青年等就農計画・営農計画等の作成支援

▶**研修期間** 令和8年7月から1年間

▶**研修時間** 土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時（ただし、研修時間の延長または休日に研修をおこなうこともある）

▶ 募集条件

- ① 農業を職業として選択し、自主的努力を基本に自立経営農家をめざした就農意欲が高いと認められる者
- ② 本町に住所を有し、研修後も本町において農業に従事できる者
- ③ 年齢が概ね18歳から65歳未満の健康な者
- ④ 自己資金等の条件が整っており、農地の確保が見込まれる者
- ⑤ 普通自動車運転免許を有する者
- ⑥ 身元保証人が1名いる者

▶**募集人員** 若干名

▶**募集締切** 4月30日（木）

▶ 申込方法

研修申請書にてお申込みください。申請書は農林課での受け取りまたは町公式ウェブサイトからダウンロードできます。

▶**お問い合わせ先** 農林課 農業振興係
☎ 0997 - 72 - 1174

町公式
ウェブサイト



“町道網野子峠線” アマミノクロウサギ等侵入防止柵（防獣ネット）設置中！

令和4年11月から、町道網野子峠線の一部区間において、アマミノクロウサギ等の希少野生生物の保護のため、鹿児島県自然保護課が侵入防止柵を設置しており、令和8年2月に設置区間を延長しました。アマミノクロウサギ等の希少野生生物の交通事故が多発している区間に設置することで、希少野生動物の交通事故を防ぐことを目的としています。設置場所の詳細は町公式ウェブサイトにてご確認ください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



町公式
ウェブサイト



▶お問合わせ先 鹿児島県 環境林務部 自然保護課
☎ 099 - 286 - 2616

3月は自殺対策強化月間です



あなたの周りで、「いつもと様子が違うな…」と感じる人がいたら、ちょっと勇気を出して心配していることを伝えてみませんか？そして、もしあなたが悩み事を抱えていたら、一人で抱え込まず、信頼できる誰かに伝えてみてください。無理に言葉にしなくても大丈夫。あなたと一緒に考えて一緒に悩んでくれるはずですよ。様々な悩みに対応する相談窓口も多数あります。

相談窓口一覧
町公式ウェブサイト



▼あなたもゲートキーパーの輪に加わりませんか？

- 変化に気付く
眠れない、食欲がない等、いつもと様子が違うな…。
- 温かく見守る
温かく寄り添いながら、じっくり見守りましょう
- 声かけ
「何か悩んでる？よかったら、話して。」「なんだか元気がないけど、大丈夫？」
- 傾聴
(耳を傾けねぎらう)
悩みを真剣な態度で受け止め、安易な励ましや一方的な説得は慎み、相手の考えを否定せず尊重しましょう。
- 支援先につなぐ
早めに専門機関に相談するよう、促しましょう。(相談を受ける方は、一人で抱え込まないことが大切です。)

まずは、声をかけることから始めてみませんか。

▼お問合わせ先

保健福祉課 保健福祉係 ☎ 0997 - 72 - 1068

ストップ！ロードキル

ゆっくり運転で、島の生きものたちを守ろう！

アマミノクロウサギ 交通事故件数

今年 (1月末までの合計)	17 件
昨年 (2025年の合計) ※速報値	159 件

今月の一言
宇検村へ向かう県道は要注意。暗い時間帯は無理のない走行を。

環境省奄美群島国立公園管理事務所(奄美野生生物保護センター)
ケガをしているアマミノクロウサギや死体を見つけたら0997-55-8620までご連絡を！

司法書士による法律相談会（無料）

▶日時 3月19日（木）午前10時～午後1時

▶場所 きゅら島交流館2階更衣室（和室）

事前に予約されると、優先的にご相談いただけます。たとえば、相続や遺言について、不動産の名義変更について、老後の資産管理、成年後見制度ってなに？会社を作りたい。など、お悩みのある方はお気軽にご相談ください。

※正式な依頼に至った段階で、費用が発生します。

▶お問合わせ先 司法書士事務所木村

☎ 0997 - 72 - 3672

4月2日は世界自閉症啓発デー

毎年4/2は 国連の定めた **世界自閉症啓発デー**

発達障害啓発週間 4月2日～8日

ちがいはちがひ、しなかりは未来

SESAME STREET

子どもまんなか

全国各地で啓発イベントが行われます。詳しくは公式サイトへ

啓発デー #世界自閉症啓発デー

お問い合わせ先 一般社団法人日本自閉症協会 Tel.03-3545-3380 Fax.03-3545-3381 asj@autism.or.jp

町青少年育成基金へのご寄付

瀬戸内町青少年育成基金へ日本基督教団瀬戸内教会
かな保育園様から一金4千円をいただきました。
大切に使用させていただきます。
ご寄付ありがとうございます。

▼お問合わせ先

社会教育課 生涯学習係 ☎ 0997-72-2905

弁護士法人 空と海「そらうみ法律事務所」 弁護士による無料法律相談会

弁護士があらゆる法律相談に個別で応じます（1回につき5人まで、お一人30分程度）。お気軽にご相談ください。個人情報を守られます。

▶日時 3月14日（土）午後2時～午後5時

▶場所 瀬戸内町社会福祉協議会
（古仁屋船津、旧母子センターの建物）

▶予約方法 事前の電話予約が必要です。
受付時間：平日午前9時～午後5時
※正午～午後1時を除く

▶お問合わせ先 瀬戸内町社会福祉協議会
☎ 0997-72-4144

～受付時間延長～

マイナンバーカード（手続き全般） 申請・交付・更新・ロック解除など

▶日時 3月9日（月）・3月23日（月）
午後5時15分～午後7時

▶場所 瀬戸内町役場町民生活課戸籍住民係窓口

▶手続きに必要なもの

- ・申請の場合… 本人確認書類（写真撮影無料）
- ・交付の場合… ハガキ・本人確認書類
- ・更新の場合… マイナンバーカード（暗証番号等）

▶通常開庁時間帯も受け付けています

平日の午前8時30分～午後5時15分

▶本人確認書類

- （以下の①書類を1点。ない場合は、②を2点持参）
- ①運転免許証・パスポート・在留カード・無料乗車券など
 - ②健康保険の資格確認書・年金手帳・医療受給者証・学生証など

※マイナ保険証利用時には、電子証明書
の有効期限をご確認ください。

▶お問合わせ先

町民生活課 戸籍住民係 ☎ 0997-72-1060



引越して住所を異動される方は 「正確な住所の届出」が必要です！

住民票の住所の異動届（転出・転入・転居届など）は、国民健康保険および国民年金の資格の確認や、選挙人名簿への登録などにつながる大切な手続きです。マイナンバーカードには、最新の住所を記載する必要があります。引越し先の市区町村にマイナンバーカードを持参し、必要な手続きを行ってください。「転出届」は、マイナポータルを通じてオンラインで提出できます。

※正当な理由がなく住民票の異動の届出をしない場合、5万円以下の過料に処されることがあります。

▶お問合わせ先 町民生活課 戸籍住民係
☎ 0997-72-1060

春の火災予防運動

春の火災予防運動

令和8年3月1日①～3月7日④

～ 全国統一標語 ～



急ぐ日も足止め火を止め準備よし



春になり、空気が乾燥し、風の強い日も多いため、火災の発生しやすい状況にあります。また、新生活の始まりなどで慌ただしくなり、火の消し忘れや不注意による火災が増える傾向があります。火の取り扱い、火の始末には十分ご注意ください。火災予防運動期間中は各種行事を予定していますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

▶「林野火災注意報・警報」運用開始

令和8年1月1日から運用開始となりました。林野火災の予防上「注意」が必要と判断される気象条件になった際や、予防上「危険」な気象状況になった際に発令するものです。

▶リチウムイオン電池関連火災急増中

リチウムイオン電池は、スマートフォンやゲーム機、電子タバコ、掃除機など、私たちの身の回りの多くの製品に使われています。近年、リチウムイオン電池を含む製品が収集物に混入し、リサイクル工場やゴミ収集車で発煙や発火するトラブルが全国的に増加しています。適正な破棄にご協力をお願いします。

▶お問合わせ先 瀬戸内消防分署 予防係

☎ 0997-72-1190



令和 8 年経済センサスー活動調査

総務省と経済産業省は、令和 8 年 6 月 1 日現在で、「令和 8 年経済センサスー活動調査」を実施します。この調査は、令和 3 年に実施した同調査等によって得られた事業所や企業の情報を活用して、売上高など経営項目の把握に重点を置いて実施されます。事業所および企業の皆様につきましては、本調査へのご理解とインターネットでのご回答をお願いします。※本調査をよそおった不審な訪問者や不審な電話・電子メールなどにご注意ください。金品を請求したりすることは絶対にありません。

総務省統計局
ウェブサイト



▼お問合わせ先

総務企画課 企画係 ☎ 0997 - 72 - 1112



**経済センサス
活動調査**

経済の現状調査

令和8年 4月～5月にかけて
6月1日 調査票をお届けします。

回答はインターネットが
おすすめです。

この調査は統計法に基づき強制調査で、調査
に回答する義務があります。ご回答いただいた内容は
統計目的以外に第三者に提供することには、絶対に
あたりません。

<https://www.e-census2026.go.jp/>
経済センサス2026 検索

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

総務省・経済産業省・農林水産省・国土交通省からのお願いです。

令和 7 年中 (2025 年 1 ~ 12 月) の所得申告を受け付けています

この申告は、あなたの町県民税および国民健康保険税を正しく算出する基礎となります。また、各種証明書の発行や国民健康保険税を軽減するための資料となります。

▶**受付期間** 2月16日(月)～3月16日(月)
午前9時～午後5時(閉庁日は除く)

▶**申告場所** 税務課 課税係

▶申告の必要な方

【給与収入の方】給与収入者で、会社にて年末調整をしていない方

【年金収入の方】収入が公的年金のみの方は必要ありませんが、次に該当する場合は申告が必要です。

①年金の源泉徴収票の扶養や控除欄に相違がある場合(配偶者・扶養人数・障害・寡婦・社会保険料等)

②年金額が400万円を超える場合

③年金以外に収入がある場合

④所得税が源泉徴収されている方で還付申告を行う場合(確定申告)

【収入のない方】国民健康保険に加入し、所得のない方 ※申告をされないと、

国民健康保険税の軽減措置等
が受けられなくなります。

国税庁ウェブサイト
確定申告特集



▶お問合わせ先

税務課 課税係

☎ 0997 - 72 - 1116

国民年金は「想定外のリスク」に 対応できる「国の保険」です

▼65歳になったとき「老齢基礎年金」

国民年金を10年以上納付した方が65歳から受け取る老後のための年金です。

▼病気やケガで障害が残ったとき「障害基礎年金」

国民年金に加入中に、病気やケガが原因で障害が残ったときのための年金です。

▼一家の大黒柱が亡くなったとき「遺族基礎年金」

国民年金に加入中の方が亡くなったときの遺族のための年金です。原則、「18歳未満の子のある配偶者」と「18歳未満の子」が支給対象となります。

▼メリット

- ・生涯にわたって受け取れます。
- ・物価変動などの経済変化に対応しています。
- ・国民年金保険料の納付免除・猶予制度があります。

▼お問合わせ先

町民生活課 国民年金係 ☎ 0997 - 72 - 1060

確定申告相談会場 (大島税務署)

大島税務署に開設される確定申告会場では、原則として、ご自身のマイナンバーカードとスマートフォンを利用して確定申告書等を作成していただきます。会場への入場は、LINE アプリによるオンライン事前予約または当日配付する入場整理券が必要です。

▶開設期間・受付時間

2月16日(月)～3月16日(月) 公式アカウント
(土・日曜日、祝日を除く)

午前9時～午後4時

(入場整理券の配付終了まで)

▶お問合わせ先 大島税務署 ☎ 0997 - 52 - 4321

国税庁 LINE
公式アカウント



みんなの防災広場

No.03

用意して安心!

「非常持ち出し袋」の巻

この前、はじめて防災訓練に参加して、ちよつとドキドキしたよ。

参加してくれたんだね。ありがたう。ドキドキするのは、とても大事な気持ちだよ。

でも、どうして防災訓練をするの?

それはね、災害が起きたときに、あわてず行動するためなんだ。

瀬戸内町は、地震や津波の心配があるから、避難する場所や役割分担を決めて、みんな練習しているんだよ。

そうなんだ! 私、きゅら島交流館に行ったよ。リュックを背負ったお姉ちゃんやお兄ちゃんがいて、かっこいいなって思った!

そのリュックは「非常持ち出し袋」だよ。避難したあとに必要な物が入っているんだ。

登場人物

防災ウサギちゃん
防災せんもんかん

私も欲しい!

じゃあ、中に入れておきたい物を教えるね。



まず絶対に必要なのは、携帯トイレ、水、食料の3日分だよ。奄美でも近くで大きな地震があったり、南海トラフ地震が起きた場合は、大きな津波が来るかもしれないんだよ。だから、避難の準備をしておかないといけないんだよ。

ほかには何を入れるの?

たとえば:

- 懐中電灯
- 電池
- ラジオ
- タオル
- 薬
- マスク
- モバイルバッテリー

用意した非常持ち出し袋は、玄関など、すぐ持ち出せる場所に置いておくね。

おうちのひとと一緒に準備するよ!

監修: 総務企画課危機管理係

せとうちめぐり



安脚場 菊美さん
かずはら 数原 菊美さん
昭和23年9月24日生まれ

「何か人の役に立てたら、いつか自分に返ってくる。そう信じています」。

穏やかな表情で語るのは、安脚場集落で32年にわたり共同募金活動を続けてきた数原さん。

愛媛県出身の数原さんが島へ来たのは昭和45年。大阪での勤務時代に出会った夫と結婚。その後、長男の小学校入学を機に安脚場に移住しました。

しかし、待っていたのは慣れない畜産業。事務職とのギャップに悩み、帰りたくてサトウキビ畑で一晩過ごしたこともありました。それでも、「畜産なら生活していける」と心を決め、今では牛の頭を撫でれば心が通じ合うほど、愛情を持って育てています。

現在は夫と二人三脚で牛の世話をす

るかたわら、施設にいる100歳の義父の面会に通い、集落の独り暮らしの方への声かけを欠かさない日々を送っています。

共同募金活動を始めたのは、集落の区長を引き受けたことがきっかけでした。周囲が役職を遠慮しがちな中、「畜産なら自由な時間が作れるから」と自ら役割を背負い、長年活動を牽引してきました。

そんな数原さんが今、一番感謝しているのは長年連れ添う夫の存在です。「私を大事にしてくれることが何よりの支え。主人とこれからも変わらぬお付き合いで、一生を終わりたい」と優しく微笑みます。

「人の役に立てば、いつか自分に返ってくる。若い世代にもその喜びを知ってほしい」。奉仕の心と夫婦の絆は、安脚場の穏やかな景色の中に今も息づいています。

皆さんの周りの素敵な方をご紹介ください! 自薦・他薦問いません。

総務企画課情報政策係

☎0997(72) 1111まで

戸籍の窓



お誕生おめでとう

1月に届けられた分のうち、希望者のみを掲載しています。(敬称略)
※他市町村で届けられた分は申し出がない限り、非掲載としています。

【名前】

【保護者】

石橋 智花^{ともか} 利基・汐希

♡ご結婚おめでとう

【名前】

【本籍】

♡ 清 瑛斗
三島 早耶香

清水 諸鈍

広報紙郵送料寄付

【名前】

【住所】

皆田 範夫

大阪府

♡寄付ありがとうございました。

瀬戸内町の情報発信
各種公式SNSはこまごまから



広報せとうち有料広告を
募集しています！



おくやみ申し上げます

【名前】

【年齢】

【本籍】

福澤 由美子	84	古仁屋
山下 拓三	68	諸鈍
新田 孝博	65	手安
保 志文	72	網野子
国島 富則	98	諸鈍
静 敏雄	86	諸数
泉 浩一	77	阿木名
竹下 信仁	72	瀬相
竹原 武子	80	古仁屋
瀬戸口 ハツヘ	98	三浦
川畑 吉男	75	古仁屋
朝谷 美津子	78	手安
沖島 率子	77	嘉鉄
與島 洋子	77	奄美市

香典返しとして社協へ

【遺族】

【故人】

【住所】

池田 博彰

シズエ

網野子

泉 美智子 浩一 阿木名
総合計金60,000円

令和8年3月 休日当番医

日付	当番医	薬局
3月1日(日)	瀬戸内徳洲会病院	
3月8日(日)	瀬戸内徳洲会病院	
3月15日(日)	瀬戸内徳洲会病院	
3月20日(金)	へき地診療所	マリン薬局
3月22日(日)	瀬戸内徳洲会病院	
3月29日(日)	瀬戸内徳洲会病院	

■ 診察時間

【午前】午前9時～正午

【午後】午後2時～午後5時

※休日当番医は変更になる場合がありますので、事前に各医療機関にお問合わせください。

■ 当番医の電話番号

へき地診療所 ☎ 0997-72-3211

瀬戸内徳洲会病院 ☎ 0997-73-1111

南大島診療所 ☎ 0997-72-0107

当番医予定表



まちの人口と世帯数 令和8年1月末

(カッコ内は前月比)

人口	7,888人 (-21)
男	3,951人 (-17)
女	3,937人 (-4)
世帯	4,949世帯 (-11)

▶ 島別人口等



行事予定



今月の
広報せとうち
アンケート
フォーム



－ 募集概要（選手） －

- ▶ **対象** 小学生以上の健康な方（但し、小学生は保護者同伴に限る。未成年者は承諾書に保護者の同意が必要）。また、海上でのセルフレスキューができる方。
- ▶ **参加料** 大人 10,000 円、小人（小・中学生・高校生） 5,000 円
- ▶ **定員** 300 艇（先着順）※出場する艇の確保後にお申込みください。

＼ 今大会からボランティアを募集します！ ＼

- ▶ **対象** 20 歳以上の健康な男女
- ▶ **期日** 7 月 5 日（日）
- ▶ **申込期間** 3 月 1 日（日）～ 5 月 8 日（金）
- ▶ **参加特典** ①この日しか食べられない愛情たっぷり昼食
②大会オリジナルTシャツ（非売品）

SEA ON THE WORLD

「海は世界をつなぐ、人をつなぐ。」

毎年7月の第1日曜日に開催される、国内最大規模のシーカヤック大会。地元だけではなく全国から参加者が集います。奄美大島と加計呂麻島の間にある美しい大島海峡が舞台となります。

競技は、奄美大島の古仁屋港を出発し、大島海峡を越えて加計呂麻島のチェックポイントを巡り古仁屋港に戻ってくる約33キロのフルマラソンコースと約17キロのハーフコース、4人1組または8人1組で漕ぐ駅伝コースなどがあります。

チェックポイントで加計呂麻島の人々とふれあい、大会後には後夜祭が開催され、シマ唄やフラダンス、ゲストによるライブなど、奄美に夏の到来を告げるビッグイベントです。

AMAMI SEA KAYAK MARATHON RACE

鹿児島県瀬戸内町 大島海峡一帯（奄美大島・加計呂麻島）



町制施行70周年記念

2026 07.04 SAT → 07.05 SUN

第34回 2026 奄美シーカヤックマラソン IN 加計呂麻大会

申込期間：2026年3月1日（日）～ 2026年5月8日（金）

紺碧に輝く大島海峡を舞台とした、国内最大規模のシーカヤック大会に、あなたもチャレンジしてみませんか？

▶ **お問い合わせ先** エントリーについて：エントリーセンター（株）ファインシステム内 ☎ 079 - 420 - 6663
ボランティア・大会について：大会事務局（水産観光課 観光振興係内） ☎ 0997 - 72 - 1115



大会ボランティア募集について



大会公式 Instagram

▶ 大会公式サイト

